

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年10月06日

計画の名称	竹見台・桃山台地区のまちづくり												
計画の期間	平成30年度 ~ 令和02年度 (3年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	吹田市												
計画の目標	竹見台・桃山台近隣センターが位置する千里ニュータウンは、良好な住環境を供えた大量の住宅を供給するため計画され、昭和36年から開発されたまちであり、近隣住区論にもとづいて道路、鉄道、公園、学校、商店などを総合的、計画的に配置しているまちである。このうち、近隣センターは徒歩圏において日常の生活の利便性を提供するための場所として、各住区に1~2箇所配置するように計画され、生鮮食料品を主体とするマーケット、日常雑貨等の小売店舗、飲食喫茶、理美容、銀行、公衆浴場等のサービス施設と共に、郵便局、派出所、集会所等を配置する計画とされた。しかし、近年は、近隣センターの商業環境は大きく変化し、利用者の減少などによる衰退が指摘されている。そこで、民間活力による商業機能の更新や、公共公益施設の再整備により、近隣センターの魅力、集客力を高め、活性化を図り、再生を目指すものです。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	28	A	28	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30当初	R01末	R02末
1	事業実施に向けた、土地・建物所有者の合意形成割合を0%から100%にする。 土地・建物所有者の合意形成割合 土地・建物所有者の合意形成割合(%) = 事業に合意している土地・建物所有者の数 / 全土地・建物所有者の数	0%	30%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	R02	R03	R04				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	吹田市	直接	吹田市	-	-	基本計画等作成等事業(竹見台・桃山台近隣センター地区)	推進計画等策定(2.98ha)	吹田市						28		-	
												小計						28		
											合計						28			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

吹田市都市計画部において事後評価を実施

事後評価の実施時期

令和4年6月

公表の方法

吹田市ホームページにおいて公表

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

各地権者との個別面談の実施等により、事業に対する理解が深まるとともに合意形成が図られ、機運が高まっている。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

当地区の再整備の方向性について地権者が検討・協議する場である「研究会」で検討・協議が進められ、地権者の事業に対する機運が高まり準備組合が設立された。

特記事項（今後の方針等）

引き続き準備組合との合意形成や事業化に向けた関係者との協議を進め、事業推進を図る。

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	100%
	最終実績値	88%
事業実施に向けた、土地・建物所有者の合意形成割合を0%から100%にする。		
事業計画が具体的でないことにより、一部地権者の賛同を得られなかったため、目標値を達成できなかった。		